

都市再生整備計画事業 事後評価シート
大石田拠点形成地区

令和2年3月

山形県大石田町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山形県	市町村名	大石田町	地区名	大石田町拠点形成地区			面積	129ha			
交付期間	平成27年度～令和元年度		事後評価実施時期	令和元年度	交付対象事業費	1,779	国費率	0.382				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路:町道役場小学校線道路改良事業、公園:(新)桂桜公園整備、日照畑公園整備、大石田公園整備、地域生活基盤施設:ふれあい休憩広場整備、案内・誘導サイン情報板整備、高次都市施設:町民交流センター整備(地域交流センター等)									
		提案事業	地域創造支援事業:ウォーキングマップ作成事業、観光まちづくりマップ作成事業、高次都市施設、事業活用調査:事業評価、まちづくり活動推進事業:観光まちづくりホームページ作成事業、高齢者生きがいづくり支援事業、子育て支援推進事業、観光交流イベント創造支援事業									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設:にぎわい多目的広場整備	地権者交渉の結果、早急な対応が必要となり、関連事業にて整備			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	なし	影響なし								
	新たに追加した事業	基幹事業	なし									
交付期間の変更	当初	平成27年度～令和元年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	平成 年度～ 年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	指標1	公共施設の住民満足度	%	14.7	H26	52.8	H31	57.0	○	あり	町役場に隣接して建設されたことによる公共施設の集約と、多目的ホール、図書館、保健センター、子育て支援センターなどの施設の複合化といった総合的な整備により、目標値を超える満足度が達成された。	-
									なし			
指標2	地区内の年間公園利用者数	人/年	1,000	H26	1,500	H31	1,250	△	あり	● 事業実施前の地区内の公園を利用したイベント参加者数は1,000人程度でほぼ推移し、事業を実施しなかった場合もその傾向は続くものと予想される。評価値は従前値に対して約1.25倍の増加があり、一定の事業効果を発現したと考察できる。	令和2年5月	
								なし				
指標3	中心市街地の観光入込客数	人/年	186,400	H25	192,000	H31	167,900	△	あり	● 観光入込客数は近年下落傾向であり、事業を実施しなかった場合の推計値は平成30年度で141,300人、令和元年度で135,100人と予想される。そうした中、平成30年度の実測値は167,900人であり、当該事業の実施が下落傾向を是正することにつながったと考えられ、目標値(192,000人)の達成は難しいと予想されるが、一定の事業効果はあったものと考察できる。また、本年度中にスイーツショップが大石田温泉敷地内にオープンし観光入込客の増進が期待されることから、観光まちづくりホームページ等の情報発信を行う。	令和2年5月	
								なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み			
	その他の数値指標1	町民交流センター利用者数	人/年	13,972	H28			47,268			● 事業実施前の「旧福祉会館」の利用者数は平均で約37人/日程度であったが、交流センター整備後は約119人/日と増加した。また、図書室においては年間約3,400人程度であったものが、事業実施後は図書館として20,600人と増加しており、利用者数の増加からも、町民の満足度向上が高いものと判断できる。	
その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況	●整備した公園内で、親子連れ、地域の保育園児や小学生の利用が多く見られるようになり、日常の利用でも賑わうようになった。(地区内の年間公園利用者数の集計外)											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	住民参加プロセス	町民参加による検討		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も町民意向を取り入れたまちづくり・施設活用を進める				
	持続的なまちづくり体制の構築	①高齢者の健康づくりや生きがいづくり活動 ②町民交流の場を活用した子育て支援環境の充実 ③町民による観光交流イベントの創造		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● まちづくり活動等の継続的な実施				

様式2-2 地区の概要

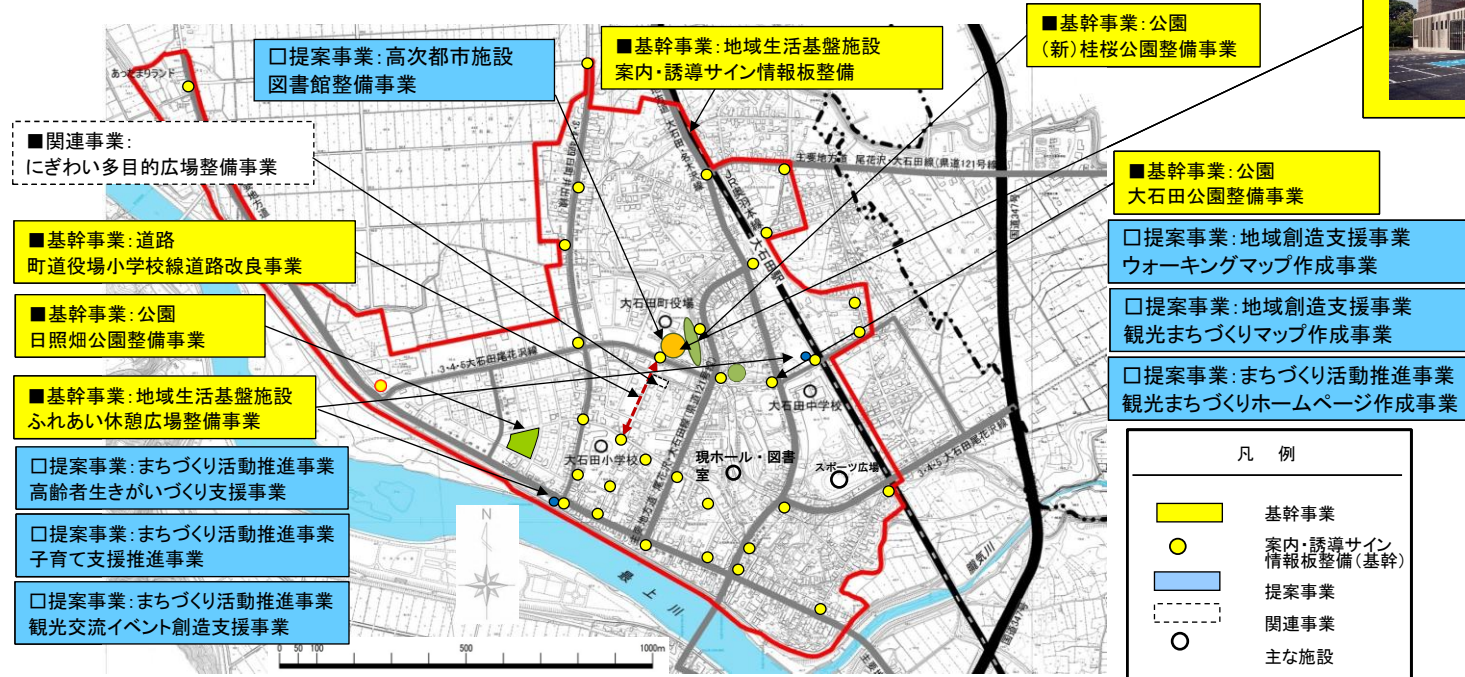
大石田拠点形成地区(山形県大石田町)都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 公共施設の再構築に伴う町民コミュニティの確立とふれあい空間、賑わいの創出 [目標1]高齢者の健康づくりと生きがいづくりを促進し、社会参加につなげる [目標2]町民交流の場の活用による子育て支援環境の充実を図る [目標3]町民・事業者活動による新たな観光交流イベントの創造を図る	公共施設の住民満足度	単位: %	14.7 H26	52.8 H31	57.0 H31
	地区内の年間公園利用者数	単位: 人/年	1,000 H26	1,500 H31	1,250 H30
	中心市街地の観光入込客数	単位: 人/年	186,400 H25	192,000 H31	167,900 H30

大石田拠点形成地区都市再生整備計画事業（山形県大石田町）

- ◆事業概要: 住民にとって利用しやすい公共施設の集約・再構築と世代を越えたコミュニティづくりから地域の観光やにぎわいを創出するために、「町民交流センター」、「役場小学校線」等を整備することにより、安全・便利な魅力あるコンパクトなまちづくりを推進する。
- ◆事業主体: 大石田町 ◆面積: 129.0ha ◆交付期間: 平成27年度～令和元年度
- ◆全体事業費: 1,779.0百万円 ◆交付対象事業費: 1,779.0百万円(国費: 680.0百万円) ◆国費率: 38.2%

■基幹事業: 高次都市施設
町民交流センター整備事業



凡例

■	基幹事業
●	案内・誘導サイン 情報板整備(基幹)
□	提案事業
---	関連事業
○	主な施設

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ■達成されたこと(課題の改善状況) ○町民交流センター(虹のプラザ)の建設により、町役場等と一体となった公共施設の集約が図られ、町民満足度の高いコミュニティ拠点が形成された。 ○公共施設一体となった公園や町民の身近な公園が整備され、町民の交流の場が形成された。 ○案内・誘導サインや町をPRするために観光マップや観光ホームページ等を作成し、町の魅力を発信できた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ■今後のまちづくり方策 ○広報などで町民交流センター(虹のプラザ)の魅力の発信と町民ニーズの把握 ○町民が主体となったイベントや施設利用の推進 ○観光ニーズを的確に把握した情報発信 ○観光施設等の集客向上への支援

都市再生整備計画事業 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 都市再生整備計画事業事後評価委員会の審議

- 添付様式8 都市再生整備計画事業事後評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	町道役場小学校線道路改良事業	15	230m	17	230m	労務単価、諸経費等事業費の精査	影響なし	●	
公園	(新)桂桜公園整備	70	5000㎡	65	4391㎡	整備内容確定に伴う事業規模、費用の精査	影響なし	●	
公園	日照畑公園整備	66	5000㎡	76	4700㎡	整備内容確定に伴う事業規模、費用の精査	影響なし	●	
公園	大石田公園整備	1	200㎡	5	200㎡	整備内容確定に伴う費用の精査	影響なし	●	
地域生活基盤施設	ふれあい休憩広場整備	4	2ヶ所 100㎡	4	2ヶ所 100㎡	なし	—	●	
地域生活基盤施設	案内・誘導サイン情報板整備	20	32基	29	32基	労務単価、諸経費等事業費の精査	影響なし	●	
地域生活基盤施設	にぎわい多目的広場整備	30	1170㎡			地権者交渉の結果、早急な対応が必要となり、関連事業にて整備	影響なし	●	
高次都市施設	町民交流センター整備(地域交流センター等)	1,484	延床面積 3500㎡	1,027	延床面積 2332㎡	町民交流センター(基幹事業)と図書館等(提案事業)の面積按分の見直し	影響なし	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造支援事業	ウォーキングマップ作成事業	1		2			影響なし	●	
	観光まちづくりマップ作成事業	1		2			影響なし		●
	高次都市施設	507	延床面積 1100㎡	537	延床面積 1219㎡	町民交流センター(基幹事業)と図書館等(提案事業)の面積按分の見直し	影響なし	●	
事業活用調査	事業評価	2		2			影響なし		●
まちづくり活動推進事業	観光まちづくりホームページ作成事業	3		3			影響なし	●	
	高齢者生きがいづくり支援事業	3		3			影響なし	●	
	子育て支援推進事業	3		3			影響なし	●	
	観光交流イベント創造支援事業	3		3			影響なし	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
				基準年度		基準年度		目標年度					あり	なし		
指標1	公共施設の住民満足度	%	町民アンケート調査による「福祉会館」「母子健康センター」「子育て世代活動支援センター」に関する満足度調査数値を従前値とし、「町民交流センター」に関する満足度調査数値を評価値(確定)とする。	-	-	14.7	H26	52.8	H31	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●	57.0	事後評価	○		
指標2	地区内の年間公園利用者数	人/年	地区内の公園を活用したイベント・行事の参加者数	-	-	1,000	H26	1,500	H31	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定 ●	1,250	事後評価	△		
指標3	中心市街地の観光入込客数	人/年	大石田町の中心市街地(計画区域)内の観光入込客数	-	-	186,400	H25	192,000	H31	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定 ●	167,900	事後評価	△		
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	町役場に隣接して建設されたことによる公共施設の集約と、多目的ホール、図書館、保健センター、子育て支援センターなどの施設の複合化といった総合的な整備により、目標値を超える満足度が達成された。	-
指標2	事業実施前の地区内の公園を利用したイベント参加者数は1,000人程度でほぼ推移し、事業を実施しなかった場合もその傾向は続くものと予想される。評価値は従前値に対して約1.25倍の増加があり、一定の事業効果を発現したと考察できる。	従前値の約8割を占めている「ふれあいマラソン」「消防大演習」は、比較的成熟した事業であり、それらイベントの大幅な参加者増を見込むことは難しかった。
指標3	観光入込客数は近年下落傾向であり、事業を実施しなかった場合の推計値は平成30年度で141,300人、令和元年度で135,100人と予想される。そうした中、平成30年度の実測値は167,900人であり、当該事業の実施が下落傾向を是正することにつながったと考えられ、目標値(192,000人)の達成は難しいと予想されるが、一定の事業効果はあったものと考察できる。	計測の大半(96%程度)が大石田温泉を訪れた人を計測したものであり、その他計測値についてはほぼ横ばいを維持したものの、大石田温泉のイベント開催状況や大型改修工事等による影響される部分が非常に多かった。
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)	
				基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価	見込み			
その他の 数値指標1	町民交流センター利用者数	人/年	従前値は、旧福祉会館年間利用者利用者数とし、評価値(確定値)は町民交流センターの利用者数とした。		13,972	H28	モニタリング			従前値と比較すると、町民交流センターの利用者数が大幅に増加したことから、施設満足度を表す指標として適切であったと考えられる。	指標1を補完説明する指標として設定する。
							事後評価	確定 ●	見込み		
その他の 数値指標2							モニタリング				
							事後評価	確定	見込み		
その他の 数値指標3							モニタリング				
							事後評価	確定	見込み		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・整備した公園内で、親子連れ、地域の保育園児や小学生の利用が多く見られるようになり、日常の利用でも賑わうようになった。(地区内の年間公園利用者数の集計外)

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
—	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	—	—

添付様式3-② 町民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
町民参加による検討	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 検討委員会:5回開催 社会教育部門検討部会(町民参加):9回開催 保健福祉部門検討部会(町民参加):7回開催 付帯施設検討部会(町民参加):6回開催	・今後も町民意向を取り入れたまちづくり・施設活用を進める

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
①高齢者の健康づくりや生きがいづくり活動 ②町民交流の場を活用した子育て支援環境の充実 ③町民による観光交流イベントの創造	予定どおり実施した	● H29～H31(R1) 3カ年実施 ①高齢者いきがいきづくり支援事業:4回 ②子育て支援推進事業:5回 ③観光交流イベント創造支援事業:4回	①実施団体 (1)大石田で合唱を楽しむ会 (2)福祉ボランティアいこいの会 (3)ぱそこんチャレンジ倶楽部 (4)燃える集団 矢留平寿留平	・まちづくり活動等の継続的な実施
	予定はなかったが実施した		②実施団体 (1)大石田で古典芸能を楽しむ会 (2)子育てサークル・小さなおもちゃ箱の会 (3)子どもミュージアム山形実行委員会 (4)子育てサークル・小さなおもちゃ箱の会 (5)大石田で合唱を楽しむ会	
	予定したが実施できなかった (理由)		③実施団体 (1)福祉ボランティア いこいの会 (2)大石田町商工会女性部 (3)大石田アウトドアクラブ遊Be隊 (4)プロジェクト「虹」	

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価庁内検討	まちづくり推進課政策推進G 産業振興課商工観光G 教育文化課生涯学習G(図書館・生涯学習・資料館) 建設課建設G 保健福祉課保健医療G(保健センター) 保健福祉課福祉G(子育て支援センター)	令和元年10月	まちづくり推進課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標1		その他数値指標1					
指標名		公共施設の住民満足度		町民交流センター利用者数					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	町道役場小学校線道路改良事業	○	町役場に隣接して建設されたことによる公共施設の集約と、多目的ホール、図書館、保健センター、子育て支援センターなどの施設の複合化といった総合的な整備により、目標値を超える満足度が達成された。	○	事業実施前の「旧福祉会館」の利用者数は平均で約37人/日程度であったが、交流センター整備後は約119人/日と増加した。また、図書室においては年間約3,400人程度であったものが、事業実施後は図書館として20,600人と増加しており、利用者数の増加からも、町民の満足度向上が高いものと判断できる。				
	(新)桂桜公園整備	○		○					
	日照畑公園整備	○		-					
	大石田公園整備	○		-					
	ふれあい休憩広場整備	○		-					
	案内・誘導サイン情報板整備	○		○					
	にぎわい多目的広場整備	○		○					
町民交流センター整備(地域交流センター等)	◎	◎							
提案事業	ウォーキングマップ作成事業	○		○					
	観光まちづくりマップ作成事業	-		-					
	高次都市施設事業評価	◎		◎					
	観光まちづくりホームページ作成事業	-		-					
	高齢者生きがいつくり支援事業	◎		◎					
	子育て支援推進事業	◎		◎					
観光交流イベント創造支援事業	◎		◎						
関連事業	にぎわい多目的広場整備	○		○					

※指標改善への貢献度

◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。

○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。

△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。

-：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	既存の活動及び新規の文化・教養活動や催しを、ポスター展示やインターネットの活用により、施設利用と町民活動をアピールし、豊かな町民活動を行える場所となる様な仕組みを整える。	同左		
-------	---------------------------------------------------------------------------------------	----	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標2			指標3								
指標名		地区内の年間公園利用者数			中心市街地の観光入込客数								
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	町道役場小学校線道路改良事業	△	事業実施前の地区内の公園を利用したイベント参加者数は1,000人程度でほぼ推移し、事業を実施しなかった場合もその傾向は続くものと予想される。評価値は従前値に対して約1.25倍の増加があり、一定の事業効果を発現したと考察できる。	Ⅲ	-	観光入込客数は近年下落傾向であり、事業を実施しなかった場合の推計値は平成30年度で141,300人、令和元年度で135,100人と予想される。そうした中、平成30年度の実測値は167,900人であり、当該事業の実施が下落傾向を是正することにつながったと考えられ、目標値(192,000人)の達成は難しいと予想されるが、一定の事業効果はあったものと考察できる。また、本年度中にスイトツショップが大石田温泉敷地内にオープンし観光入込客の増進が期待されることから、観光まちづくりホームページ等での情報発信を行う。	Ⅲ	-					
	(新)桂桜公園整備	△											
	日照畑公園整備	△											
	大石田公園整備	△											
	ふれあい休憩広場整備	△											
	案内・誘導サイン情報板整備	△											
	にぎわい多目的広場整備	△											
	町民交流センター整備(地域交流センター等)	△											
提案事業	ウォーキングマップ作成事業	-			-			-					
	観光まちづくりマップ作成事業	-											
	高次都市施設	-											
	事業評価	-											
	観光まちづくりホームページ作成事業	-											
	高齢者生きがいつくり支援事業	-											
	子育て支援推進事業	-											
	観光交流イベント創造支援事業	-											
関連事業	にぎわい多目的広場整備	△			-			-					

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	町民交流センター(虹のプラザ)等と一体となった、町民によるイベント企画などを啓発し、子育て世代向け・高齢者向けの事業を活性化させ町民交流と賑わいを創出する。	観光まちづくりホームページの事業完了は平成31年3月と日が浅いことから、今後の事業効果発現が期待される。さらに県内外の多くの人に情報発信するための方法を継続して検討し、最新情報の発信を行う。		
------------------	--------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価庁内検討	まちづくり推進課政策推進G 産業振興課商工観光G 教育文化課生涯学習G(図書館・生涯学習・資料館) 建設課建設G 保健福祉課保健医療G(保健センター) 保健福祉課福祉G(子育て支援センター)	令和元年10月	まちづくり推進課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
公共施設の集約と再構築を図り生活環境を整備	町民交流センター(虹のプラザ)の建設により、町役場等と一体となった公共施設の集約が図られ、町民満足度の高いコミュニティ拠点が形成された。	アンケートの結果、まだ利用したことがない人がいる。	なし
世代を超えた町民間の交流から町の人口と都市機能を維持していくための施策の実行	公共施設一体となった公園や町民の身近な公園が整備され、町民の交流の場が形成された。	なし	なし
町の魅力を発信する取り組みや対策	案内・誘導サインや町をPRするために観光マップや観光ホームページ等を作成し、町の魅力を発信できた。	観光交流人口の増加につながる更なる取り組みが求められる。	なし

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	町民が集まる施設の魅力の充実	広報などで町民交流センター(虹のプラザ)の魅力発信	● 広報・ホームページでの情報発信と町民ニーズの把握
	イベントの充実と情報発信	町民が主体となったイベントや施設利用の推進	● 町民による広場を中心とした美化活動イベントなどの検討
	観光ホームページのニーズに合わせた充実とメンテナンス	観光ニーズを的確に把握した情報発信	● 東北芸術工科大学と連携して、新たな目線での継続的な更新を行う。

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	町民が集まりやすいイベント等の充実	町民交流センター(虹のプラザ)を拠点として活動する町民団体の主体的な取り組みの支援	● 町民団体への支援の充実と町民ニーズの把握
	観光交流人口の増加	観光施設等の集客向上への支援	● 広報・ホームページと連携、連動した情報発信 ● 案内・誘導サインとの連携強化の検討
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

✓	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
✓	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
✓	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
✓	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
✓	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	公共施設の住民満足度	%	14.7	H26	52.8	H31	確定 ●	57.0	○	あり	-	-	-
							見込み			なし			
指標2	地区内の年間公園利用者数	人/年	1,000	H26	1,500	H31	確定	1,250	△	あり	令和2年5月	地区内の公園を活用して1年間に実施される各種の「イベント、行事」に参加する利用者数を集計	
							見込み ●			なし ●			
指標3	中心市街地の観光入込客数	人/年	186,400	H25	192,000	H31	確定	167,900	△	あり	令和2年5月	中心市街地内の年間観光入込客数を集計	
							見込み ●			なし ●			
指標4							確定			あり			
							見込み			なし			
指標5							確定			あり			
							見込み			なし			
その他の数値指標1	町民交流センター利用者数	人/年	13,972	H28			確定 ●	47,268			-	-	-
その他の数値指標2							確定						
その他の数値指標3							確定						

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	—	指標に影響を与える外部要因を考慮したうえで、指標を設定する必要がある。 アンケート調査などは回収率を上げる工夫として、住民への分かりやすさに更に留意することが望まれる。
	うまく いかなかった点	—	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	
町民参加 ・情報公開	うまくいった点	町民交流センター(虹のプラザ)の計画に際して、町民の意見を取り入れたことが満足度向上につながった。	今後のまちづくりにおいても、町民懇談会やアンケート調査など町民意見を取り入れた計画づくりが必要である。
	うまく いかなかった点	—	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	—	事業進捗状況を把握し、円滑な事業実施を図る。
	うまく いかなかった点	—	
その他	うまくいった点	—	—
	うまく いかなかった点	—	

添付様式6—参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

なし

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町のホームページに原案を掲載	令和元年12月3日～12月17日	令和元年12月3日～12月17日	まちづくり推進課を受付窓口とし、意見書・電子メール・ファックスによる意見を受け付ける。	まちづくり推進課
広報掲載・回覧・個別配布	町広報紙(11月25日号)で事前周知	なし	なし		
説明会・ワークショップ	なし	なし	なし		
その他	まちづくり推進課の窓口で閲覧	令和元年12月3日～12月17日	令和元年12月3日～12月17日		

町民の意見	なし				
-------	----	--	--	--	--

(6) 都市再生整備計画事業事後評価委員会の審議

添付様式8 都市再生整備計画事業事後評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	渡部 桂 東北芸術工科大学 准教授 會田 秀一 (公財)山形県建設技術センター常務理事	令和2年2月17日	まちづくり推進課	大石田町都市再生整備計画事業評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	庄司 正彦 大石田町都市計画審議会会長 三浦 崇 大石田町区長会連絡協議会長 森 晴夫 緑町地区長				

審議事項※1	委員会の意見	
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	方法書に従って、事後評価が実施されたことが確認された。
	成果の評価	成果の評価としては妥当である。 アンケートの回収率を上げる工夫があれば、より住民意向を吸い上げた成果の評価ができたと思われる。
	実施過程の評価	特になし
	効果発現要因の整理	効果発現要因の整理の手続きについては妥当である。 整備した公園単独の利用者数の検証等ができれば更に良かったと思われる。
	事後評価原案の公表の妥当性	事後評価原案の公表については妥当である。 今後の大石田からの類似の公表では、町民にとって分かりやすく住民の意見を吸いあげられる仕組みを考えていただきたい。
	その他	大石田は蕎麦の町でTVにも取り上げられ、観光客は増えていると思う。 そういった視点での計測ができればなお良かった。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事業評価の手続きは妥当であると確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	銀山温泉へ行く観光客を大石田の街なかに足を運んでもらえる方策が必要である。 町民交流センターを町民や民間に使っていただけるPRが必要であり、町民が公園やホールをどのように使いたいかといったニーズを掘り起こすことが大事である。 事業効果を継続させるためのイベントについては、町民が楽しめるイベントを検討いただきたい。 サインについては、ウォーキングマップや観光まちづくりマップとの連動した仕組みづくりが重要である。
	フォローアップ	観光入込客数については、街なかで人が集まるようなポイントを選んでの継続的なフォローも希望する。
	その他	特になし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策については妥当であると確認された。
その他	事後評価の手続きは問題無い。 住民に分かりやすく、住民の意見を吸い上げられるといった仕組みをさらに考えていただきたい。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、まちづくり交付金評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--